

婚姻届

令和年 月 日届出

兵庫県尼崎市長 殿

受 理 令 和 年 月 日 第 号		発 送 令 和 年 月 日	
送 付 令 和 年 月 日 第 号		兵庫県尼崎市長 印	
書類調査	戸籍記載	記載調査	調 査 票
		附 票	住 民 票
			通 知

(1)	氏 名 (よ み か た)	夫 に な る 人		妻 に な る 人	
		氏	名	氏	名
		生 年 月 日	年 月 日	生 年 月 日	年 月 日
(2)	住 所 〔住民登録をして いるところ〕	世帯主 の氏名		世帯主 の氏名	
(3)	本 籍 〔外国人のときは 国籍だけを書い てください〕	番地 番		番地 番	
		筆頭者 の氏名		筆頭者 の氏名	
(4)	父母及び養父母 の 氏 名 父母との続き柄 〔右記の養父母以外にも 養父母がいる場合には その旨の補に書いてください〕	父	続 き 柄 男	父	続 き 柄 女
		母		母	
		養父	続 き 柄 養 子	養父	続 き 柄 養 女
		養母		養母	
(5)	婚姻後の夫婦の 氏・新しい本籍	☐ 夫の氏	新本籍 (左の☑の氏の人が入すでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください)		
		☐ 妻の氏	番地 番		
(6)	同居を始めた とき	平成・令和 年 月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始め たときのうち早いほうを書いてください)			
(7)	初婚・再婚の別	☐ 初婚 再婚〔 ☐ 死別平成・令和 年 月 日 ☐ 離別 年 月 日〕 ☐ 初婚 再婚〔 ☐ 死別平成・令和 年 月 日 ☐ 離別 年 月 日〕			
(8)	同居を始める 前の夫妻のそれ ぞれの世帯の おもな仕事と	夫 ☐ 妻 ☐	1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯		
		夫 ☐ 妻 ☐	2. 自営業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯		
		夫 ☐ 妻 ☐	3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が 1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5)		
		夫 ☐ 妻 ☐	4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または 1年未満の契約の雇用者は5)		
(9)	夫 妻 の 職 業	夫 ☐ 妻 ☐	5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯		
		夫 ☐ 妻 ☐	6. 仕事をしている者のいない世帯		
		(国勢調査の年の 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までに届出をするときだけ書いてください)			
(10)	夫 妻 の 職 業	夫の職業			
		妻の職業			
(11)	届 出 人 署 名 (※押印は任意)	夫		妻	
		印		印	
(12)	事 件 簿 番 号	住 定 年 月 日		夫 昭和 令和 平成	妻 昭和 令和 平成

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。

この届は、あらかじめ用意して、結婚式をあげる日または同居を始める日に出すようにしてください。その日が日曜日や祝日でも届けることができます。

証 人		
署 名 (※押印は任意)	印	印
生 年 月 日	年 月 日	年 月 日
住 所		
本 籍	番地 番	番地 番

婚姻届には成人2人の証人が必要です。

「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

☐には、あてはまるものに☑のように印をつけてください。
外国人と婚姻する人が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合には、新しい戸籍がつくられますので、希望する本籍を書いてください。

☑の氏の人が入すでに戸籍の筆頭者となっている場合、この婚姻での戸籍の変動はありません。
本籍を変更されたい場合は、別途「転籍届」の提出が必要です。

再婚のときは、直前の婚姻について書いてください。
内縁のものは含まれません。

- 署名欄はご本人がフルネームで自署してください。
- 夫・妻は婚姻前の氏で署名してください。
- 届出人の本人確認書類（運転免許証・パスポート等）をご持参ください。

◎かならず
書いてください。

連絡先 (昼間連絡が取れるところ)
夫・妻・その他 ()
電話 ()
自宅・勤務先・携帯
夫・妻・その他 ()
電話 ()
自宅・勤務先・携帯

本人確認欄		不受理確認	通 知	使 氏 名	免・旅・個・保・()
夫 免・旅・個・保・()	未・来庁・せず (確認者)	☐ 有 (確認者) ☐ 無	☐ 要 ☐ 不要		
		未・来庁・せず (確認者)	☐ 有 (確認者) ☐ 無	☐ 要 ☐ 不要	(確認者)